

題名 派遣事業を通して感じた思い

鹿沼市立東中学校 (氏名) 田中 義人



私は、派遣期間中に広島平和記念資料館を訪れた際に様々な写真や遺品を見た時に、衝撃のあまり、私は、何の声も出ませんでした。そして館内も、入口付近では、話し声が所々で聞こえていましたが、中に進めば進むほど話し声がなくなり、空気が重くなるのを感じました。私が一番悲しくなったのは、被爆者が疎開した子供に向けて書いた手紙です。その手紙の最後の1文には、「かわいい咲子ちゃん 母より さようなら」とあり、最後に子供とも会えずに死んでしまう母が子供にどんな思いで書いたか想像するだけで辛く、胸が張り裂けそうになりました。また、被爆体験講話では、被爆者の方から、「怒りからは平和は生まれない、若者の1人1人の力を使えばきっと平和な世界は実現できる」という発言があり、改めて、私たちが派遣事業で見たもの、聞いたもの、感じたことを多くの人に伝えないといけないと感じました。